

あさお希望のシナリオプロジェクト 第8回検討会 (2021/3/28)

全体発表摘録

テーマ

「1 提示した機能以外に考えられる機能、足りない機能について」

「2 令和3年度中にSDCモデル実施を見据えて優先的に検討すべき機能について」

【グループ1】

- ・議題1について、機能案で示されている①～⑧で優先順位は特にならない。全ての機能を同時スタートが理想であるが、現実には難しいので優先順位をつけて、ということだと思うが、8つ同時にやっていくためには、まず②情報収集・提供機能がないと、その他7つはどれも成立できないだろうという話になった。
- ・例えば麻生SDCが出来たとして、その名前を知らない人に「あなたの団体の情報を教えてください」といったとしても信頼関係がないと教えてもらえないと思う。SDCがあるということ、紙やSNS、HP等で目にしておくことで「あそこで見たな」となれば信頼してもらえるのでは。③既存団体間ネットワーク構築のためにも信頼関係は大事だと思った。
- ・他に考えられる機能として少し細部の話になるが、地元の学校で例えばサッカー部が強いとかで、町内会、町が一体となって応援してくれていたなら、それはすごくいい街だと思う。今、川崎フロンターレは強くて、南部の方はアクセスも良いので町全体として応援しているが、北部はあまり応援がないのは川崎市としてどうなのかという意見もあった。スポーツは、どの世代も楽しめるという面もあるので、スポーツをとりあげてつながりを持っていくというのでもいいのではないかという案があった。
- ・皆さん、先日「まちのひろば」を見学して「こんな活動があるんだ」とわかって、つながりが持てたという話もあったと思うが、それが現在の時点でコーディネイト機能、マッチング機能の原型だと思っている。ここに皆さんが集まっている時点で始まっていると思う。そういったところを見える化する、整理する作業をSDCとして担っていければいいと思っている。

【グループ2】

- ・議題1については、他の地域との交流人口が減っているという話も出て、川崎市の各区との連携も必要ではないかという話もあった。
- ・一方で、防災の面を考えるとお隣との助け合いも希薄になっているので、そちらも密にしていく必要があって、そのためには町内会との連携等もSDCとどうやってつなげるかも課題。そのためにはコーディネイト機能・マッチング機能に町内会も入っているので、そこで考えていければいい。麻生区には大学が6つあるので、どうやって大学の若い人たちとつながるのかという話で、学生さんからは「長い休みがあるとほとんど麻生区にはいない子もいるので、外から麻生区に通っている学生ではなく、麻生区に住んでいる学生を巻き込むのがいい

のでは」という話があった。

- ・非常に問題になったのが、アパートに住んでいる方は、永住はされない、その人たちをどう引き込んでいくか。高齢者等来られない人をどう引き込んでいったらよいのか等まだまだ問題はあるのかなという感じ。
- ・議題2に関しては、優先すべき機能は②と④。②情報収集機能が一番重要なのではないかという話になった。やまゆりから話のあった「ネクスト10」の3つの柱がすごくわかりやすくていいと思った。8つは細分化しすぎていたが、じゃあどこからということを見ると、「ネクスト10」の考え方はわかりやすくていいという話になった。
- ・情報の収集や発信について、自分は「ロコッチ新百合ヶ丘」というサイトをやっている。「ロコッチ」ではWEBとSNS発信のみで、紙はない。やっけていて情報拡散の限界を感じている。基本的にWEBは自分から情報をとりにいかないと手に入れられないので、チラシ等紙媒体での情報はすごく大事。WEBはこの人たちが担当で、紙は得意な人たちがやってみるという情報の発信を考えてみてもいいのでは。
- ・SDC全体について、スモールスタートしてみることが大事という話になった。多摩区の話を知ると先に場所があったから、そこに人が集まって、そこから何か生まれたという話だったので、麻生区では場所の問題があるみたいだが、場所も含めて考えてみてもいいのではと感じた。
- ・紙媒体も置くところがないと意味がない。駅におくということもハードルが高い。誰でもがおける場所があれば非常に助かる。地域の広報誌に「ここにおいてある」とPRしてもらえれば、できるのではないか。WEBの方では、「ロコッチ」が「希望のシナリオプロジェクト」のことも紹介してくれていて、「こんなことやっていたんだ」「俺たちすごいな」と自分で見ているところがあるので、ぜひ見てほしい。

【グループ3】

- ・足りない機能としては、やまゆりの機能がせつかくあるのでそこをもう少しSDCに入れ込む、棚卸しするということがあってもいいのではないか。
- ・やまゆりの理事長からもやまゆりをSDCの一部に入れればいいという話もあった。
- ・今出ている8つの機能だけでも大丈夫ではないかという意見もあった。
- ・機能を考えるうえで、ありたい姿を先に考えたうえで、現状を考えていくというバックキャストの考え方で取り組んでいく必要があるのではないか。
- ・優先的に取り組んでいく機能としては、基本的には②情報の収集は、令和3年度中にも出来る可能性があるということで、優先的に取り組んでいった方がいいのではないかという意見があった。
- ・他には、④コーディネート機能・マッチング機能と③ネットワーク機能も優先的に取り組んでいく必要があるのではという話があったが、この3つに関して総合的に関連しているという話なので、どれかを優先的にやっていくというよりは、同時にやっていく必要がある。
- ・大きなことをいきなりやっていくことは不可能なので、できるところからやっていくという

話になった。できるところからも、全体としてやっていくのもあるが、もっと個人個人で「この指とまれ」方式も検討した方がいいのではという意見もあった。

【グループ4】

- ・8つの機能の前に、SDCをやることでの目的、やりがいをまずみんなで見据えて、それをどういうふうに機能に落とし込んでいくのかということ、みんなが考えてどういう風に機能に結びつけていくのが大事という意見が出た。
- ・SDCを何のためにやるかも同じように大事。
- ・区民が具体的に動くきっかけとなるようなSDCが提示できるようにすることも大事な柱の一つ。
- ・「つなぐ」というワードが多いが、つなぐはSDCでマッチングも大事だが、必要があれば自然発生的につながることもある。つながってどうしたいか、つないだ先も考えることも大切だという意見もあった。
- ・SDCにエリアデザイン機能を入れたらいいのではという意見があった。地域によって課題が違う。団体は各地域にあるが、地域の中、エリアで話あう場がないので、SDCが各エリアでの情報共有する場、情報共有したり話あったりする場があったらいいという意見があった。
- ・議題2については、④コーディネート機能・マッチング機能が大事だという意見で、麻生区ではすでにしっかり活動している団体が沢山あるので、お互いどういう活動をしているのか、知らないということも多いので、SDCが間に入ってマッチングすることで相乗効果、さらに発展していくのではないかと。

【オンライングループ】

- ・1番目の議題についてはほとんど網羅されているので、これでいいのではないかと。やってみないと足りないかもわからないので、スタート時点ではこれでいいのではないかと。いかに整理して絞っていくかが大事ではないかという意見もあった。
- ・2番目の議題については、一番多くでたのが、②と③。②情報発信・提供機能はすぐにはできるということもあるし、これらの機能をすぐにはやっていくことは難しいので、まずは②をやっていくのがいいのではないかと。これをやっていくことで他の機能につながっていくのではないかとという意見があった。個々の情報発信になっていて、今の状況はもったいないという意見だった。
- ・相談の拠点はどこかにあるといいが、すぐには難しいのであれば、まずは印刷物でそれらを担えたらいいのでは。
- ・市民が何に困っていて、団体がどうそこに係わるかという情報提供をしたらどうか、若い人はインスタが流行っていて、そこでうまく情報提供しているので、このシナリオでもインスタを始めたらという提案もあった。
- ・③に関してはすでに活動している人が多いので、団体の状況は把握できていないので、③を

優先的に取り組んだ方がいいのではという意見があった。

- ・シニアと若者の団体を上手く連携してやっていくためにも③が重要では。
- ・④に関しても世代間の壁を壊してほしい、考え方や仕組みがほしい。そういう機能を③や④で担えるのかと思う。
- ・優先順位については以上の3つだが、それ以外に意見があったのが、活動をまだしていない方、してみたいと思っている方からすると、そこにいくまでのハードルが高くて、知り合いがいないと参加しにくいという声があった。広く一般の人が参加するためには内側と外側とどちらからもアプローチすることも大事ではないか。なので、①と⑤を優先的にやってほしいという意見もあった。

(以上)